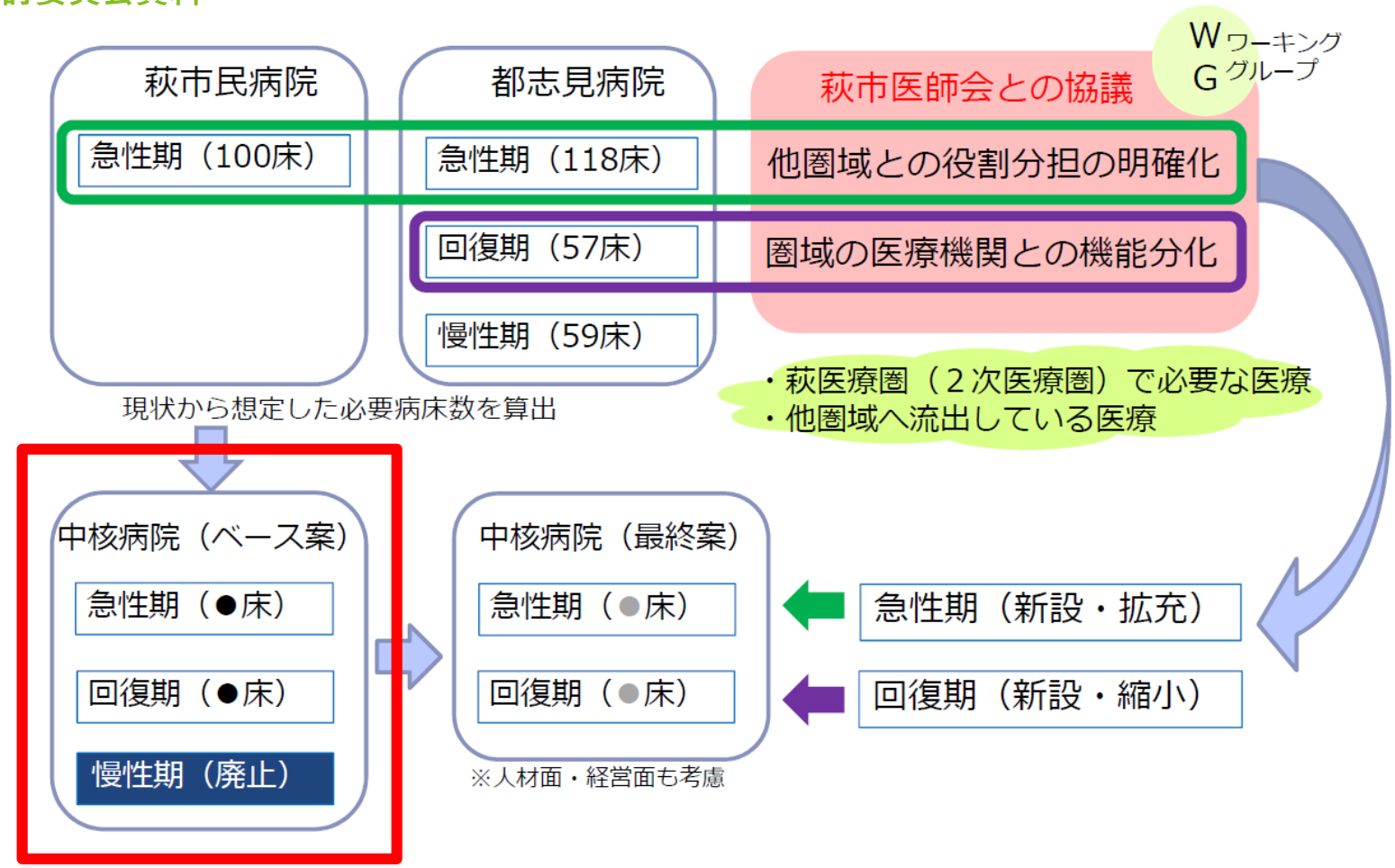
資料 6

必要病床数の検討

現状から想定される算出病床数に、萩市医師会との協議内容も踏まえて病床機能を検討する

第2回検討委員会資料



※今回報告分
（国保・後期高齢者レセプト分析による将来患者数 × 両病院の入院実績（各病床）に基づく、ベース案の仮試算）

出所：第2回検討委員会資料「診療科目、医療機能、病床規模の検討」、スライド2「診療科目・医療機能・病床規模の検討イメージ」

外部環境や医療需要に加えて、新病院の機能を踏まえたうえで、必要病床数を算定する

病床規模算定のための検討アプローチ

1. 外部環境及び医療需要を踏まえた新病院での入院患者像の設定

国民健康保険レセプトデータ及び後期高齢者レセプトデータから疾患別・病床機能別に萩市の医療受療動向を分析した結果や救急体制の分析結果を基に、今後注力すべき疾患を把握する。

(参考：レセプト分析結果例)
急性期：新生物の市外流出患者が多く、当該患者を注力して受け入れるべき。
回復期：市内完結率が高く、市内における都志見病院の受入患者割合も低いため、機能縮小が可能と想定される。
慢性期：市内完結率が高く、医療圏内での病床数は過剰である。

2. 新病院のあり方を踏まえた機能強化・機能分化による入院患者数の算定 ［※今回未反映］

「1.外部環境及び医療需要を踏まえた新病院での入院患者像の設定」の結果及び、検討委員会・WGの検討内容を踏まえ、新病院における入院患者増減の設定を行う。

(参考：レセプト分析後の設定例)
急性期：注力すべき疾患ごとに必要な病床数を積み上げる。
回復期：中核病院として適正規模の病床数を設定する。
慢性期：新病院では廃止する。

※今後の各WGや検討委員会での議論により、中核病院の持つべき医療機能や診療科目を設定した段階で、入院患者増減に基づく病床数の補正を行う

3.将来推計入院患者数から必要病床数を算定

下記「①将来推計入院患者数の増減率」と「②ICD10別の入院延患者数」より、将来推計入院患者数を算出し必要病床数を算定する。
① 萩市の国保・後期高齢者レセプトを基にした患者推計を用いて将来需要を推計する
② 萩市民病院、都志見病院の2019年度様式1を使用し、ICD10別の構成割合を算定した上で、ICD10別の入院延患者数を算定する。

(参考：様式1にて下記前提で病床機能を区分)
急性期一般入院料：様式1にて「調査対象となる一般病棟への入院の有無」についてのみ「1」が入力された患者
地域包括ケア病棟入院料：様式1にて「調査対象となるその他の病棟への入院の有無」に「1」が入力され、入院期間が60日以内の患者

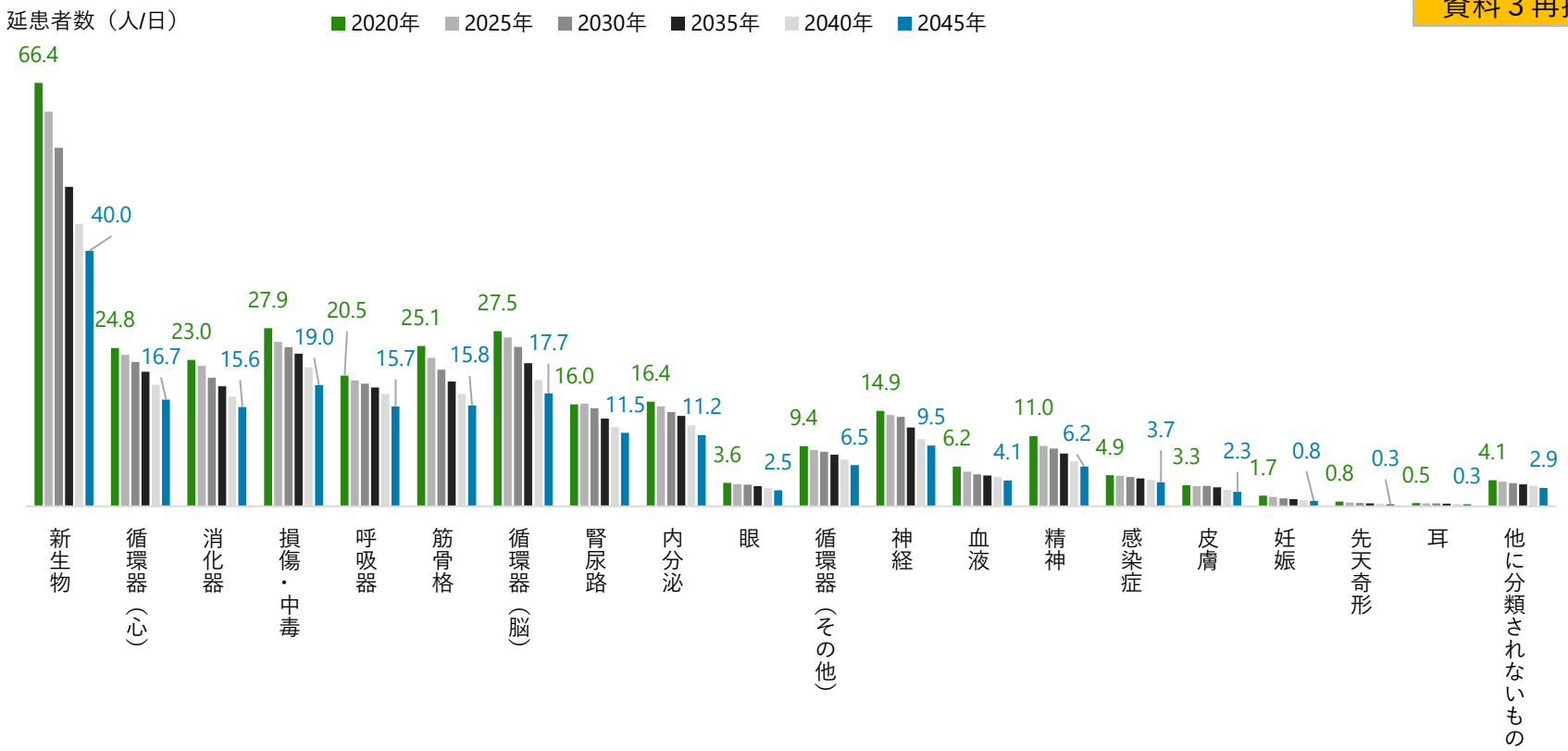
急性期（急性期一般入院料を算定する病棟）における将来の必要病床数は、「高度急性期・急性期_萩市民の入院患者推計」を用いて算定する

患者推計値

高度急性期
急性期

高度急性期・急性期_萩市民の入院患者推計（ICD-10分類別）

資料３再掲



- 推計値は国保・後期高齢者レセプトデータで算出した受療率を使用し、性別・各年齢階級における受療率×萩市推計人口から算出
- グラフ上の数値は、2020の数値年及び2045年の患者推計値を表示している
- 「循環器（脳）」には、脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血・その他の脳血管疾患、「循環器（心臓）」には、虚血性心疾患・その他の心疾患、「循環器（その他）」には、高血圧性疾患・低血圧（症）・動脈硬化（症）等が含まれている
- 「精神」は統合失調症、気分障害等が含まれ、「神経」はアルツハイマー病、パーキンソン病が含まれる

出所：国保・後期高齢者レセプトデータ（診療年月：2019年4月～2020年3月）、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（2018年）

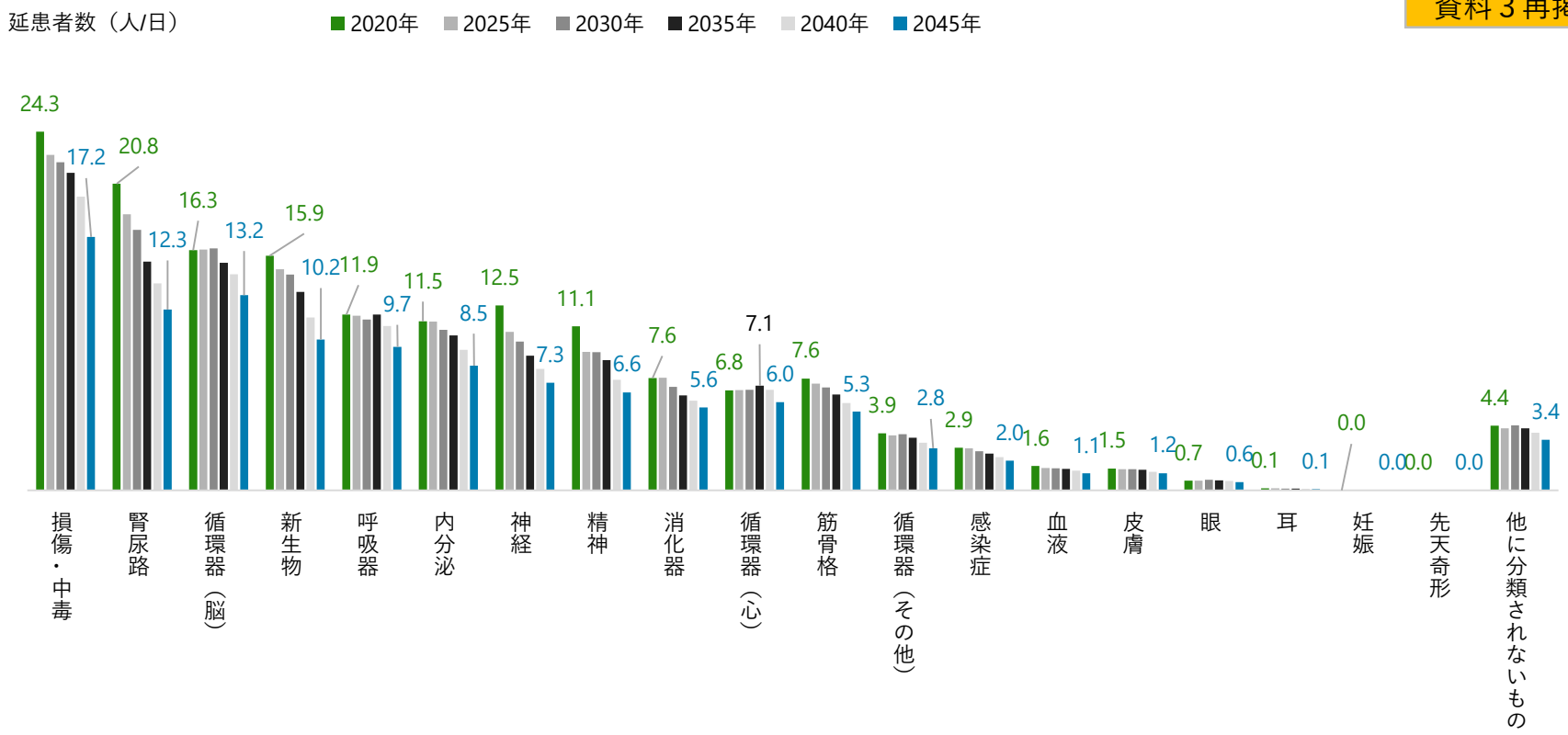
回復期（地域包括ケア病棟入院料を算定する病棟）における将来の必要病床数は、「回復期_萩市民の入院患者推計」を用いて算定する

患者推計値

回復期

回復期_萩市民の入院患者推計（ICD-10分類別）

資料３再掲



- 推計値は国保・後期高齢者レセプトデータで算出した受療率を使用し、性別・各年齢階級における受療率×萩市推計人口から算出
- グラフ上の数値は、2020の数値年及び2045年の患者推計値を表示している
- 「循環器（脳）」には、脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血・その他の脳血管疾患、「循環器（心臓）」には、虚血性心疾患・その他の心疾患、「循環器（その他）」には、高血圧性疾患・低血圧（症）・動脈硬化（症）等が含まれている
- 「精神」は統合失調症、気分障害等が含まれ、「神経」はアルツハイマー病、パーキンソン病が含まれる

出所：国保・後期高齢者レセプトデータ（診療年月：2019年4月～2020年3月）、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（2018年）

【参考資料】
萩市民病院（急性期）：2019年度実績を基に将来の必要病床数を算定

【萩市民病院：急性期一般入院料】延入院患者数 (退院患者含む)

（単位：人/年）

疾患分類	2019年実績	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
Ⅰ　感染症及び寄生虫症	908	894	880	847	803	766	688
Ⅱ　新生物	3,000	2,953	2,753	2,501	2,228	1,969	1,780
Ⅲ　血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	239	235	206	190	183	174	154
Ⅳ　内分泌，栄養及び代謝疾患	560	551	527	497	475	427	375
Ⅴ　精神及び行動の障害	29	29	25	23	21	18	16
Ⅵ　神経系の疾患	870	856	820	803	708	604	546
Ⅶ　眼及び付属器の疾患	0	0	0	0	0	0	0
Ⅷ　耳及び乳様突起の疾患	61	60	58	54	52	48	40
Ⅸ　循環器系の疾患	7,043	6,934	6,640	6,314	5,803	5,190	4,597
Ⅹ　呼吸器系の疾患	4,404	4,335	4,177	4,065	3,944	3,728	3,316
ⅩⅠ　消化器系の疾患	2,232	2,197	2,108	1,931	1,799	1,645	1,488
ⅩⅡ　皮膚及び皮下組織の疾患	384	378	363	367	339	293	260
ⅩⅢ　筋骨格系及び結合組織の疾患	1,786	1,758	1,630	1,498	1,370	1,232	1,105
ⅩⅣ　腎尿路生殖器系の疾患	1,272	1,252	1,260	1,207	1,080	973	903
ⅩⅤ　妊娠，分娩及び産じょく	0	0	0	0	0	0	0
ⅩⅥ　周産期に発生した病態	12	12	12	11	10	10	9
ⅩⅦ　先天奇形，変形及び染色体異常	0	0	0	0	0	0	0
ⅩⅧ　症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	145	143	135	126	119	111	101
ⅩⅨ　損傷，中毒及びその他の外因の影響	6,684	6,580	6,080	5,881	5,644	5,137	4,479
ⅩⅩⅠ　健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0	0	0	0	0	0
合計	29,628	29,169	27,674	26,315	24,580	22,323	19,856

【必要病床数：山口県地域医療構想では急性期病床の病床稼働率を78%と想定】

病床稼働率78%を想定		102	97	92	86	78	70
(参考)病床稼働率85%を想定		94	89	85	79	72	64
(参考)病床稼働率90%を想定		89	84	80	75	68	60

出所：国保・後期高齢者レセプトデータ（診療年月：2019年4月～2020年3月）、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（2018年）
6　萩市民病院、都志見病院 様式1データ（萩市民病院：2019年4月~2020年3月、都志見病院：2019年6月~2020年5月）

【参考資料】
都志見病院（急性期）：
急性期一般入院料の2019年度実績を基に将来の必要病床数を算定

【都志見病院：急性期一般入院料】延入院患者数 (退院患者含む)

（単位：人/年）

疾患分類	2019年実績	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
Ⅰ　感染症及び寄生虫症	342	337	332	319	303	289	259
Ⅱ　新生物	9,239	9,096	8,479	7,702	6,862	6,064	5,483
Ⅲ　血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	89	88	77	71	68	65	57
Ⅳ　内分泌，栄養及び代謝疾患	394	388	371	349	335	300	264
Ⅴ　精神及び行動の障害	145	143	123	117	108	92	81
Ⅵ　神経系の疾患	790	777	745	729	643	548	496
Ⅶ　眼及び付属器の疾患	0	0	0	0	0	0	0
Ⅷ　耳及び乳様突起の疾患	188	185	179	167	160	146	122
Ⅸ　循環器系の疾患	6,603	6,501	6,225	5,919	5,440	4,866	4,310
Ⅹ　呼吸器系の疾患	2,489	2,451	2,361	2,298	2,230	2,107	1,875
ⅩⅠ　消化器系の疾患	3,917	3,856	3,700	3,388	3,158	2,886	2,611
ⅩⅡ　皮膚及び皮下組織の疾患	111	109	105	106	98	85	75
ⅩⅢ　筋骨格系及び結合組織の疾患	786	774	718	660	603	543	487
ⅩⅣ　腎尿路生殖器系の疾患	3,130	3,082	3,100	2,971	2,657	2,395	2,222
ⅩⅤ　妊娠，分娩及び産じょく	142	140	126	107	92	80	68
ⅩⅥ　周産期に発生した病態	64	63	60	56	53	49	44
ⅩⅦ　先天奇形，変形及び染色体異常	0	0	0	0	0	0	0
ⅩⅧ　症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0	0	0	0	0	0	0
ⅩⅨ　損傷，中毒及びその他の外因の影響	3,362	3,310	3,058	2,958	2,839	2,583	2,252
ⅩⅩⅠ　健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0	0	0	0	0	0
合計	31,792	31,299	29,757	27,918	25,648	23,098	20,707

【必要病床数：山口県地域医療構想では急性期病床の病床稼働率を78%と想定】

病床稼働率78%を想定		110	105	98	90	81	73
(参考)病床稼働率85%を想定		101	96	90	83	74	67
(参考)病床稼働率90%を想定		95	91	85	78	70	63

出所：国保・後期高齢者レセプトデータ（診療年月：2019年4月～2020年3月）、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（2018年）
7　萩市民病院、都志見病院 様式1データ（萩市民病院：2019年4月~2020年3月、都志見病院：2019年6月~2020年5月）

【参考資料】
都志見病院（回復期）：
地域包括ケア病棟入院料の2019年度実績を基に将来の必要病床数を算定

【都志見病院：地域包括ケア病棟入院料】延入院患者数 (退院患者含む)

（単位：人/年）

疾患分類	2019年実績	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
Ⅰ　感染症及び寄生虫症	106	105	103	99	94	90	80
Ⅱ　新生物	1,132	1,115	1,039	944	841	743	672
Ⅲ　血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0	0	0	0	0	0	0
Ⅳ　内分泌，栄養及び代謝疾患	725	714	682	643	616	553	486
Ⅴ　精神及び行動の障害	136	134	115	110	101	86	75
Ⅵ　神経系の疾患	544	536	514	503	443	378	342
Ⅶ　眼及び付属器の疾患	0	0	0	0	0	0	0
Ⅷ　耳及び乳様突起の疾患	71	70	68	63	61	56	46
Ⅸ　循環器系の疾患	1,333	1,312	1,257	1,195	1,098	982	870
Ⅹ　呼吸器系の疾患	925	910	877	854	828	783	696
ⅩⅠ　消化器系の疾患	843	830	797	730	680	621	562
ⅩⅡ　皮膚及び皮下組織の疾患	214	211	203	204	189	164	145
ⅩⅢ　筋骨格系及び結合組織の疾患	1,165	1,147	1,064	978	894	804	721
ⅩⅣ　腎尿路生殖器系の疾患	767	755	760	728	651	587	544
ⅩⅤ　妊娠，分娩及び産じょく	0	0	0	0	0	0	0
ⅩⅥ　周産期に発生した病態	0	0	0	0	0	0	0
ⅩⅦ　先天奇形，変形及び染色体異常	3	3	3	2	2	2	1
ⅩⅧ　症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0	0	0	0	0	0	0
ⅩⅨ　損傷，中毒及びその他の外因の影響	3,738	3,681	3,401	3,289	3,157	2,873	2,505
ⅩⅩⅠ　健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0	0	0	0	0	0
合計	11,705	11,524	10,881	10,342	9,655	8,721	7,748

【必要病床数：山口県地域医療構想では急性期病床の病床稼働率を78%と想定】

(参考)病床稼働率78%を想定		40	38	36	34	31	27
(参考)病床稼働率85%を想定		37	35	33	31	28	25
病床稼働率90%を想定		35	33	31	29	27	24

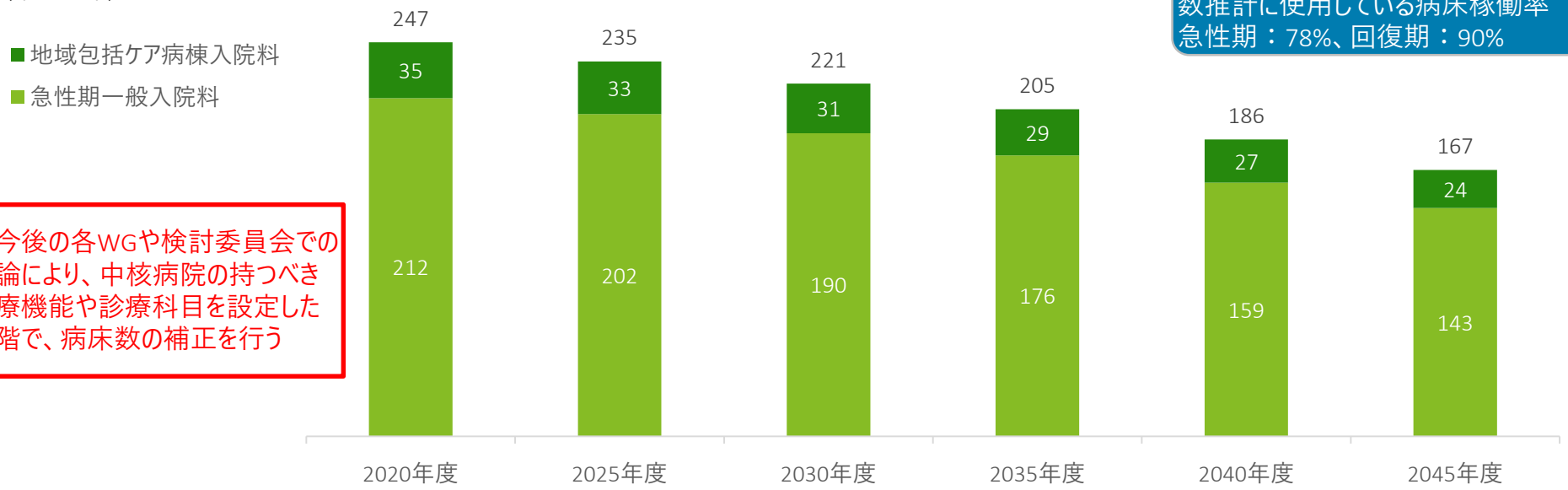
出所：国保・後期高齢者レセプトデータ（診療年月：2019年4月～2020年3月）、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（2018年）
8　萩市民病院、都志見病院 様式1データ（萩市民病院：2019年4月~2020年3月、都志見病院：2019年6月~2020年5月）

両病院統合後の必要病床数を仮試算した結果、2025年度は235床と推計され、その後は患者数減少に伴って推移し、2045年度には167床となる見込みである

必要病床数(急性期一般入院料の病床稼働率78%、地域包括ケア病棟入院料の病床稼働率90%と想定した場合)

（単位：床）

山口県地域医療構想にて、必要病床数推計に使用している病床稼働率
急性期：78%、回復期：90%



※今後の各WGや検討委員会での議論により、中核病院の持つべき医療機能や診療科目を設定した段階で、病床数の補正を行う

区　　分	2020年度	2025年度	2030年度	2035年度	2040年度	2045年度
萩市民病院：急性期	102	97	92	86	78	70
都志見病院：急性期	110	105	98	90	81	73
都志見病院：回復期地域包括ケア病棟	35	33	31	29	27	24

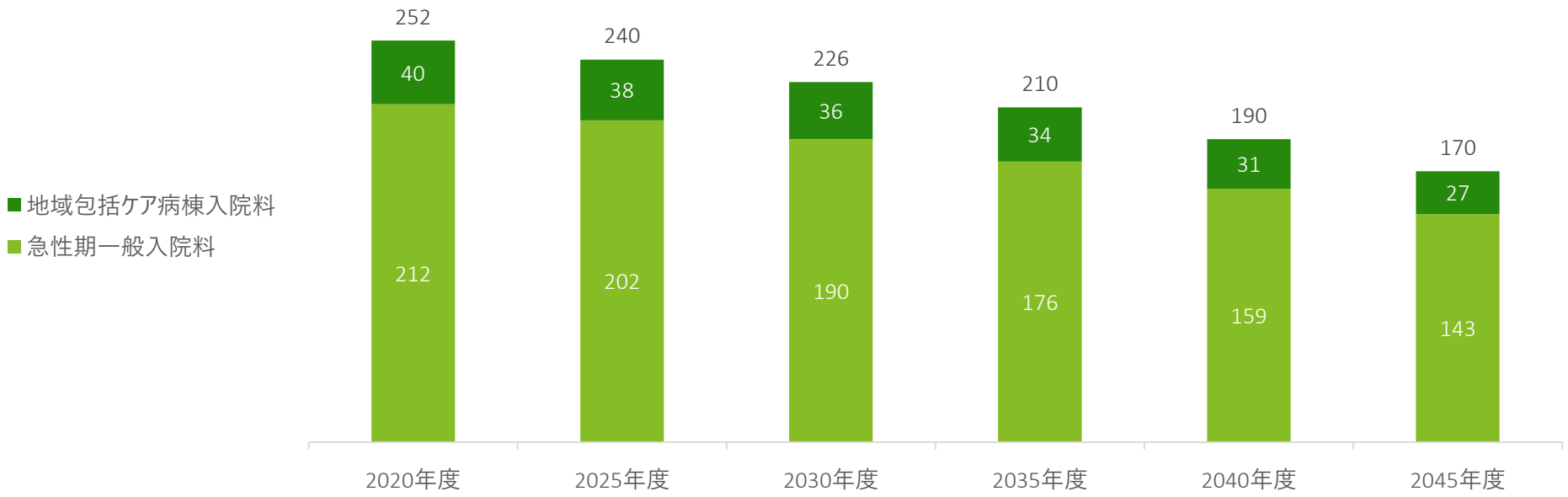
急性期 (稼働率78%)	212	202	190	176	159	143
回復期:地域包括ケア病棟(稼働率90%)	35	33	31	29	27	24
合計	247	235	221	205	186	167

出所：国保･後期高齢者レセプトデータ（診療年月：2019年4月～2020年3月）、国立社会保障･人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（2018年）
萩市民病院、都志見病院 様式1データ（萩市民病院：2019年4月~2020年3月、都志見病院：2019年6月~2020年5月）

【参考資料】
急性期一般・回復期地域包括ケア病棟共に病床稼働率を78%と想定した場合の必要病床数

必要病床数(病床稼働率78%と想定した場合)

（単位：床）



区　分	2020年度	2025年度	2030年度	2035年度	2040年度	2045年度
萩市民病院：急性期	102	97	92	86	78	70
都志見病院：急性期	110	105	98	90	81	73
都志見病院：回復期地域包括ケア病棟	40	38	36	34	31	27

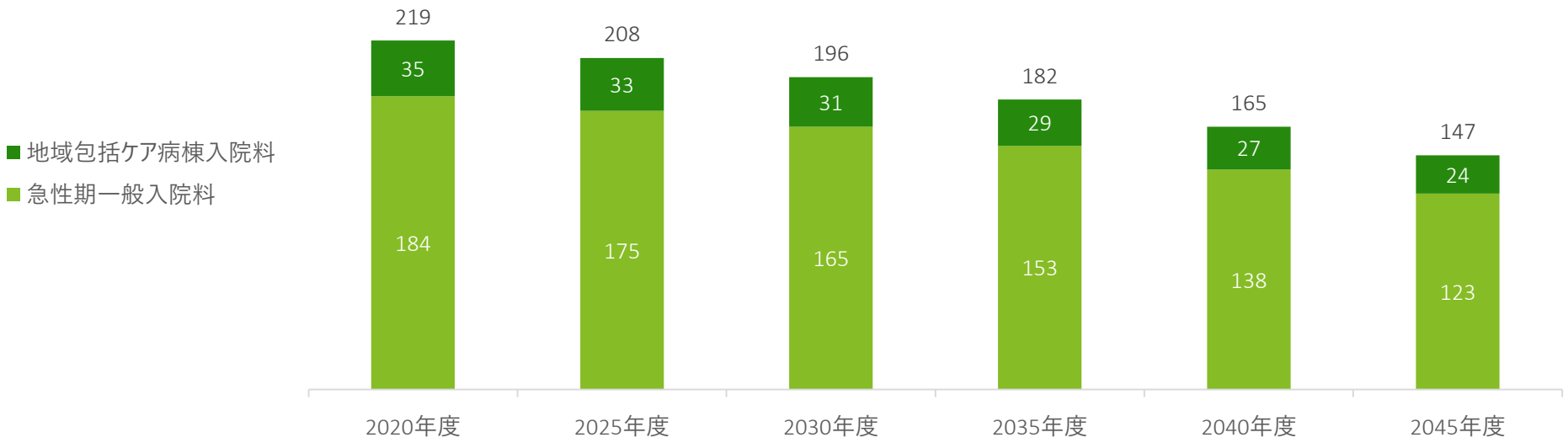
急性期	212	202	190	176	159	143
回復期：地域包括ケア病棟	40	38	36	34	31	27
合計	252	240	226	210	190	170

出所：国保・後期高齢者レセプトデータ（診療年月：2019年4月～2020年3月）、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（2018年）
萩市民病院、都志見病院 様式1データ（萩市民病院：2019年4月~2020年3月、都志見病院：2019年6月~2020年5月）

【参考資料】
急性期一般・回復期地域包括ケア病棟共に病床稼働率を90%と想定した場合の必要病床数

必要病床数(病床稼働率90%と想定した場合)

（単位：床）



区　分	2020年度	2025年度	2030年度	2035年度	2040年度	2045年度
萩市民病院：急性期	89	84	80	75	68	60
都志見病院：急性期	95	91	85	78	70	63
都志見病院：地域包括ケア病棟	35	33	31	29	27	24

急性期	184	175	165	153	138	123
回復期地域包括ケア病棟	35	33	31	29	27	24
合計	219	208	196	182	165	147

出所：国保・後期高齢者レセプトデータ（診療年月：2019年4月～2020年3月）、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（2018年）
萩市民病院、都志見病院 様式1データ（萩市民病院：2019年4月~2020年3月、都志見病院：2019年6月~2020年5月）

【参考資料】　萩保健医療圏の必要病床数

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	2025年予定
萩市民病院	0	100	0	0	100	
都志見病院	0	118	57	59	234	慢性期▲29（廃止）
玉木病院	0	40	0	111	151	
萩むらた病院	0	16	0	60	76	
萩慈生病院	0	0	0	184	184	慢性期▲40（移行）
全眞会病院	0	0	0	108	108	慢性期▲54（移行）
花宮医院	0	16	0	0	16	
なかむらレディース	0	10	0	0	10	
見島診療所	0	2	0	0	2	
計	0	302	57	522	881	
地域医療構想における（2025年）必要病床数	24	178	181	232	615	
		余剰	不足	余剰		

萩保健医療圏の医療機関の医療機能ごとの病床数（2018年7月時点）